

## 「東北震災地とスパリゾートハワイアンズ・東京3泊4日」ツアー記

新井隆幸

9月2日（日）

地元からの参加者15名を乗せ13時頃風連を出発、途中の旭川で橋本和憲君・深川で住田行男君・札幌で大川範子さん・私の4名を乗せ合計18名で17時過ぎ苫小牧港に到着、中島憲一君と合流し全員19名が集まった。

17時30分頃に名古屋港行きの総トン数15,762tの「いしかり」に乗船。19時の出港前に食事を済ませ、それぞれデッキに出て出向を見守る。その頃は暗くなっていた。

夜は、シアターラウンジで音楽の生演奏、その後22時から映画「はやぶさ」を観賞した。映画が終わったのが0時20分頃でした。

その後、寝室（B寝台の10人部屋）に戻り横になったが、船の後方でエンジンの上の部屋のため振動と、ベッドが狭く手足を伸ばせない状況でなかなか眠れない。（昔、開発局に入った当初、現場で寝室も無く押入れで寝ていた生活を思い出す）

どうしても眠れないので大浴場に行き、フロアでテレビの大リーグ戦を数時間観戦。その内眠気がきたのでベッドに戻るが、やはり眠れないので、二度目の風呂に行くが、湯船のお湯が大きくうねっており、時々お湯が溢れそのたびに身体が流される状況になった。

その頃になると辺りが薄明るくなり、海を見ると波は無いが、うねりが有り歩いてもふらつく状況であった。結局、一睡もしないまま朝を向かえた。

9月2日（日）

7時30分に朝食を取るが、船酔いをした人も2～3名おり朝食抜きの人が出た。

予定どおりに10時頃に仙台港に到着。周辺は3・11の震災の跡が残っており、桟橋も仮の桟橋であった。

港には、仙台からは5日の最終地点の羽田まで同行するバスガイドさんが待っていた。また、宮田君の息子さんのお嫁さんとお孫さんが着ており、仙台名産の笹かまぼこを差し入れしてくれた。

仙台港から本塩釜港に向かったが震災の復旧工事をしているところが多く見られた。本釜石港の発着場の建物には津波が到達した高さが表示されていた。ここから遊覧船に乗り松島湾に浮かぶ260余島の間を50分位で島の名所を巡る芭蕉コースを遊覧する。数多くある島の中で人が住んでいる島は四島だけで残りは無人島となっている。島は凝灰岩からなる丘陵が断層によって大小無数の島々に分離した多島湾で赤松に覆われている。小さな島は岸が波で削られ奇怪な形をしていて、それぞれ動物などの名前が付けられており不思議で美しい光景で、さすが丹後の天橋立・安芸の宮島と並ぶ日本三景の一つである。

松島湾に接する松島市などは太平洋に接する島々が防波堤の役割をしたため津波被害は比較的小さかった。

松島の遊覧船発着場に到着。このすぐ傍に瑞巖寺の所属で日本の重要文化財に指定されている五大堂が見える。天気も良いが暑い日ざしがこたえる。海岸近くの食堂で昼食を済ませ、国宝で重要文化財の瑞巖寺を参拝するが、本堂の外壁などは現在修復工事が行われており、隣接する台所とされていた庫裡（くり）から拝観する。拝観後、待っていたバスに乗り一路2日目の終着点の福島のスパリゾートハワイアンズへ向かう。

途中、高速道路から降り、震災地を視察する。私は一睡もしていなかったのに殆ど寝ていたが、目が覚めた所の一体は辺りには建物も無く更地状態で雑草だけが生い茂り、所々にガレキ処理した山々が見られた。一日も早い復興を祈るばかりである。

バスは再び高速に乗り17時頃スパリゾートハワイアンズに到着。

到着後、それぞれの部屋に入り部屋着のアロハムームーに着替えそれぞれ風呂に入る。

18時頃から和室にて夕食会、全員揃ったところでアロハムームーを着て記念撮影する。

20時過ぎから別棟のウォーターパークでお



目当てのフラガールによるポリネシアンショーがあるので早めに会場に行く。会場の建物はプールやスライダーレーンなどが一つの建物に入っており、アロハムームー姿やビキニ姿の人も多く見られた。少し遅れでショーが始まったが客席は満席状態で席を確保していないと割り込みが入る状況であった。

ショーは一時間半位であったが、私は眠かったので一足先に部屋に戻り、テレビを見ながらとうとうしていると皆が帰ってきか、そのあと全然覚えていない。

目が覚めると3時を少し過ぎていた。隣には寝る前にあった布団が無くトイレドアの前で寝ていた。私は時々大きな躰を搔くのでうるさくて移動したようだが、トイレにも入れないので部屋を出て探していると川原君達と一緒にいたので風呂に行くことにした。

9月4日（火）

今日も天気が良いが暑い日だった。東京までの途中水戸の偕楽園に寄る予定であったが、時間に余裕をみて、取り止めまっすぐ東京に向かった。

ガイドさんはベテランで、都内の地理にも詳しく、小さな橋名など細かなことまで勉

強しており退屈しなかった。ガイド経験は3年半と言っていたが本当は35年のようだ。

屋近くに葛飾柴又に着き帝釈天までの小路を散策し、映画で寅さんの叔父さんが経営する「とら屋」（現実が高木屋老舗）に入り皆で串団子を食べ浅草へ向かった。

13時過ぎに浅草の団体専用の食堂で遅い昼食をとり浅草寺・仲見世を見ながら東武線浅草駅に向かい、それぞれ一駅先の東京スカイツリー駅まで切符を買い、スカイツリー直結の駅に到着。

エレベーターに乗るまで1時間位あるので、それぞれ買い物などで時間を潰す。私は孫から頼まれていたここにしか無い玩具を買うため、一旦表に出て別棟の売り場3階に行き、何とか見つけ集合場所に着いたが、よく観ると玩具売り場はタワー棟と直結されており、集合場所の直ぐ横であり、30分位時間の無駄使いをした。

エレベーター乗り場は、長蛇の列で団体客は炎天下の表で30分以上待たされ、漸く乗ることが出来た。

エレベーターは速度が速く、あっという間に高さ350mの展望デッキに到着。

デッキを一周して直下や遠景を眺めたが、天気が良すぎて遠方はあまり良く見えず、東京タワーと違いがあまり判らない情景であった。

デッキを一周した後、二階下のデッキに下り帰りのエレベーターに乗り、再び電車で浅草駅に向かい、駅から徒歩で待っていたバスに乗る。ここから屋形船のある品川の「船清」に直行する。

屋形船には東京近郊の在住する6名が参加し、合計25名での食事会である。

18時頃に船清に到着すると、そこに東勲君と川田政雄君・坂上忠志君・宇梶あけみさんが既に到着しており、17時頃から待っていたとのことである。

全員が揃えば出港できるとのことだが、中澤義幸君と太田澄子さんが到着していなかったのので、携帯電話をすると二人一緒に品川駅に着いたばかりとのこと、到着を待つて、全員揃ったところで記念撮影をし乗船する。

船は貸し切りで、ゆったりとしており、思い思いの場所に座り宴会がはじまる。

船は湾内を少し進んだところでアンカーを下ろし固定した状態なので落ち着いて食事ができた。アルコールが進むにつれ会話がはずみ入れ替わり立ち代り、交代し懐かしい思い出話に熱中した。



辺りはすでに真っ暗で、対岸の建物のだけが明るく、食事が一段落した20時頃にア

ンカーを上げ隅田川を遡るクルージングが始まり船上で夜景を堪能する。遠方では雷光が発生しており、日中上ったスカイツリーも見えたが雲の影響で展望デッキは見えなかった。

ちなみに東京近郊の人はまだスカイツリーには上がっていないそうです。

船は、勝鬨橋の上流まで上ったところで引き返し、21時頃に船着場に到着。待っていたバスに全員が乗り、名残惜しいが宿泊場所の品川プリンスホテルで6名と分かれ、各々決まっている部屋に入る。

皆さん疲れていたようで、風呂に入らないで早く寝た人が多かったようだ。

9月5日（水）

いよいよ短いようで長かったツアーの最終日。予報では気温が35度近くまで上がるらしい。

予定通り8時半にホテルを出発。竹内明代さんが私用で羽田空港まで単独行動をするため、空席となることが前日判ったので、皆さんと船での食事をしたかったが船酔いが心配で最後まで決断できなかった、高塚撫々子さんに電話すると大変喜んで参加してくれた。

バスは築地市場の入り口でUターンし、靖国神社に向かう。神社ではそれぞれ思い思いに参拝し、敷地内にある太平洋戦争までの戦没者や軍事関係の資料を展示されている遊就館前でガイドさんから説明を聞き、時間が無いので有料館には入らず無料の施設を見てバスに乗り込む。

バスは次の見学施設である国会議事堂の裏側に到着。この道は私が開発局の勤務していた頃、予算要求や打ち合わせで上京する度、国会議事堂の傍にあった開発庁と宿舎のある麴町まで数十回となく徒歩で通った道で懐かしい。

ここで停車をしていると国会から鈴木宗男代議士の次男の秘書が出てきて衆議院参観者ホールに案内された。

ここでチェックカードを渡され、しばらく待ってボディチェックをして職員の案内で衆議院議場などを案内されるが階段の上り下りが辛い。私は三回目の見学であるが国会内部の壁は全国から集められた代理石が使われ、沖縄の珊瑚礁からなる大理石が多いそうである。

国会内の見学が終わり、議事堂の正面に回ると一台の車が止まり、中から鈴木代議士が降りてきて、一人ずつ握手をして廻った後全員で記念撮影。また 私は知らなかったが同党で北海道選出の浅野隆博代議士も着ていた。鈴木代議士は直ぐ旭川に向かうため車に乗り込んだ。

衆議院第一議員会館で食事をするため会館の裏側に到着し、食堂で用意されていた弁当を食べる。食堂のメニューを見るとやはり一般の料金よりは少し安い。

その後は、一休みと言うことで最上階の12階にある浅野代議士の部屋へ案内される

が、途中見覚えのある代議士の顔を見かける。エレベーターは一般用と代議士専用に分かれている。

浅野代議士の隣の部屋は、話題になった同党の石川代議士の部屋で、我々のところに挨拶に来た。選挙が近いせいか皆低姿勢である。

昼からは、皇居を見る予定であったが暑さと疲れのため、取り止めて真っ直ぐ羽田に向かった。道路の渋滞が無かったため2時過ぎに到着、名残惜しいがバスと分かれ出発ロビーに入る。バスはこれから6時間位かけて仙台に帰るとの事。出発予定の16時までは時間があるのでそれぞれ買い物に出かける。

帰りの飛行機は予定の機種の整備が間に合わず、別の機種で、別の搭乗口に移動し30分送れて無事離陸した。千歳に到着し荷物を受け取ると時刻は18時10分頃であった。

ここで、私と、中島君・大川さんの三人は分かれ、皆さんを乗せた地元からのバスは6時30頃風連に向かった。

終わりに

昨年から今回のツアーが一部ひとの間に話あっていた。しかし、人員の確保の目途がつかず伸び伸びになっていたが、川原会長の地元の仲間への説得で一定の人数が確保されたため、今回の実現となった。

風連中学を卒業してから53年が経ち、古希を迎える節目として、この旅行が行われたことは大変有意義なことで、二回目の修学旅行と言える。

少しスケジュール的に厳しかったのと、暑さ、体力の関係で予定のコースを省略したところもあるが、屋形船での食事会など生涯忘れない楽しい旅行であった。

このように北海道から19名、東京近郊から7名の参加者があつたことは、3年毎に実施している合同同期会、また、毎年1月11日（地元）と7月11日（札幌）に実施している同期会により仲間の絆が強いことの表れと言っても過言ではない。

これから歳をとるごとに身体の自由が利かなくなり、このような旅行は二度と出来ないと思うが、皆さんが健康で長生きして多くの仲間と再開できることを願うばかりである。

今回の参加者名

北海道から

石谷武男・藤井規勝・竹内明代・広瀬安子・山上美智子・新井隆幸・橋本和憲・吉田美恵子・加藤恭子・坂本武志・住田行男・中畠喜一・宮田久・小栗美千代・大川範子・佐々木光子・川原彰・中島憲一・石戸谷栄恵・

東京近郊から

東 勲・宇梶あけみ・川田政雄・坂上忠志・中澤義幸・太田澄子・高塚撫々子